



開祖随感

下がれば立てられる

お釈迦さまは、お弟子さんや在家の信者がどんな質問をしても、「善哉、善哉。よくその質問をしてくれました」とおほめになられ、相手が納得するまで、丁寧に答えくださっておられます。「そんなことが分からないのかね」というような顔はなさらない。ですから、お釈迦さまにお会いしただけ、お声を聞いただけで、心が晴れ渡ってしまうのです。

見てみると、お役をいただいてすばらしくよくなる人と、その反対になってしまう人がいるのですが、その違いは、自分が教えてやっているのだ、という気持ちになってしまうか、みなさんから教えていただけるのだと

いう気持ちになるか、その違いにあるように思うのです。自分の言うことを、みんながなんでも「はい」「はい」と聞いてくれると、つい得意になって、自分の悪い癖が丸出しになってしまうことがあるのです。

ご法のお役は、人さまの仏性を拝ませてもらう行なのです。「何度言っても聞かせたら分かるんだろう」というような気持ちが起きたら、自分が天狗^{てんぐ}になりかけている証拠です。信者さんのお陰で仏さまのお慈悲をかみしめさせていただけるのだという心が、下がる心なのです。

(『開祖随感』9, P. 186-187)

Living the Lotus 2020年6月号 (Vol.177)

【発行】立正佼成会 国際伝道部

〒166-8537 東京都杉並区和田2-7-1
普門メディアセンター3F

Tel: 03-5341-1124

Fax: 03-5341-1224

E-mail: living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp

編集責任者: 齋藤高市

編集チーフ: 長田健祐

校閲者: 竹谷祐市郎、小坂和正、菊池克之

編集スタッフ: 国際伝道部スタッフ

立正佼成会は1938年に庭野日敬開祖、長沼妙佼協祖によって創立された、法華三部経を所依の經典とする在家仏教教団です。家庭や職場、地域社会の中で釈尊の教えを生かし、平和な世界を築いていきたいと願う人々の集まりです。現在は庭野日鏡会長とともに、私たち会員は仏教徒として布教伝道に励みながら、宗教界をはじめ各界の人々と手をたずさえ、国内外でさまざまな平和活動に取り組んでいます。

Living the Lotus—Buddhism in Everyday Life(法華経を生きる～生活の中の仏教)というタイトルには、日々の生活のなかに法華経の教えを活かして、泥水に咲く美しい蓮の花のように、人生を豊かに、そしてより価値あるものにしていきたいとの願いが込められています。本誌を通じて、世界中の人々に日々の生活のなかで活かす仏教の教えをお伝えします。

怠け心に負けない

立正佼成会会長 庭野日鑛



精進が大事と知りながら

昔の流行歌に、「わかつちやるけど やめられねえ」という一節がありました。おもしろおかしい表現ながら、私たちの心のはたらきをみごとにあらわしています。

現に私たちは、ともすると、なすべきことを怠^{おこた}ったり、しないと決めたことを、ついしてしまったりします。お互いさま、「わかつちやるけど……」と、反省することが少なくないのではないのでしょうか。

ところで仏教では、「常精進^{じょうしゅうじん}」が大事と教えます。また、儒教などの聖賢^{せいけん}の教えでも、常に学び、身を修める努力をつづけることの大切さが説かれます。それは、人間の心の成長に「これでいい」という終わりがいいからでしょう。

一般に仏道は、「この上なくすぐれた道」という意味で、「無上道^{むじょうどう}」といいます。ただ、私はこの言葉の意味も「たとえ悟ったと思っても、そこがこの道の終点ではない。智慧^{ちえ}に目ざめる可能性に、際限はないのだ」と受けとめるほうが、向上をめざす活力^わが湧いてくるように思うのです。

だからこそ常精進が大切なのですが、私たちはつい「少しくらいサボっても」といった思いに負けてしまいます。

「懶惰^{らんだ}の意^{こころ} 及び懈怠^{およ けだい}の想を除き 諸^{おもい のぞ}の憂悩^{もろもろ}を離れて 慈心^{うのう はな}をもって法^{しん}を説^{ほう}け」とは、法華經「安樂行品」の一節です。だれもが抱く、サボりたいとか飽きたという気持ちを釈尊^{しゃくそん}もよく理解されていたので、「心の内から湧いてくるさまざまな誘惑や迷いをふり払い、安らかな心で、みずから楽^{ねが}って、喜びのうちに精進できるように」と、釈尊は私たちにこの品を説いてくださったのだと思います。





待っている人がいる

「学んで時に之^{これ}を習^{よろこ}う。また説^{こうし}ばしからずや」。孔子の言葉です。子どもが大人を見て「あのようにになりたい」と思い、その真似^{まね}を繰り返すように、目標をもって学び習うとき、それが楽しくて仕方なくなるという意味です。

このことは、信仰の世界にもいえます。「笑顔を心がけよう」「感謝を忘れない」…など、なんであれ、日々の目標や信仰の目的が自覚できれば、あとはその思い(心^{つらぬ})を貫くための精進を繰り返す(習う)だけです。それが「習慣」となって身につくことで、喜びはさらに増します。

そう考えると、自分がなぜ信仰しているのか、なんのために日々精進するのかという、目標や目的をつかむことが、喜びのうちに精進する基本となるのでしょう。

しかし、それがわかっていてもなお、内心の誘惑に負けてしまうのが人間です。ただ、迷うのも楽をしたいと思うのも自然なことで、ときには心の逃げ場も必要だと思います。そのとき、目的や目標を忘れなければいいのです。

また、たとえば読経供養^{どきょう くよう}にしても、サンガ(同信の仲間)の集まりにしても、決めたことだからといって、無理をすることがいいとは思えません。体調がすぐれなかったり、忙しかったりして疲れたら、休んでいいのです。精進をつづけるためにも、無理は禁物だということです。

「安楽行品」には、「一切^{いっさい}を慈悲^{じ ひ}して 懈怠^{けだい}の心を生ぜざれ」ともあります。人を感じる気持ちが盛んなときは、飽きたり怠^{なま}けたりする心が生まれないということです。どれほど疲れていても、わが子のために労^{ろう}を惜^おしまない母親の姿が思い起こされますが、それはつまり、「自分を待っていてくれる人がいる」と思うとき、人は自己中心の思いから離れ、その人の役に立ちたいという願いが湧いてきて、精進の一つ一つが喜びや楽しみに変わるということでしょう。

日本だけでなく、世界がさまざまな困難に見舞われています。「慈心をもって法を説け」とありましたが、みなさんのまわりには、あなたを待っている人はいませんか。

(『佼成』2020年6月号)





ただひたすらに



台北教会
陳良枝

この体験説法は、2020年2月4日に台北教会で行なわれた開祖さまご命日式典で発表されたものです。

2019年12月9日、多くの方々のおかげさまで、私は現在住んでいるベトナムで、たくさんのサンガに見守られるなか、本部御本尊を勧請させていただくことができました。本日はこの感動を胸に、私の今までの歩みを振り返らせていただきます。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

私は人情に厚い父と明るい性格の母のもと、4人兄弟の末っ子として岐阜県に生まれました。父方の祖母から受け継がれてきた立正佼成会の信仰三代目です。

まだ母のお腹にいる時から教会道場に参拝していた私は、小学生になると鼓笛隊や清掃奉仕のほか、に団参にも参加するようになり、中学校に入ると学生部の勉強会に通い、大学生の頃は名古屋教会で行なわれた大学生練成会や「まといぎふ信長まつり」での纏に加わるなど、声をかけられるままに教会の活動に参加してきました。しかし、宗教に対して不信感を抱く人が多いなかで、私にとって佼成会の会員であるということはとても恥ずかしく、友達にさえ言えない、人には知られたくない隠し事のようなものでした。

大学を卒業して就職したホテルでの仕事は、接客が好きな私にはまさに天職でした。人に喜んでもらえることがうれしく、仕事にやり甲斐を感じました。しかし、そこから得られる満足感は一時的なものに過ぎず、私は「自分の人生はこのままで良いのか」と自問するようになりました。

そんな時、普段は家にあっても読むことのなかった佼成新聞がふと目にとまりました。それは開祖さまのご入寂を報じた号で、多くの会員さんに見送られる

開祖さまのお写真をたくさん拝見し、こんなに多くの人々に別れを惜しまれている開祖さまは、どんなに素晴らしい人生を歩まれたのだろうと思いました。そして、私もそんな人生を歩んでいきたいと強く思うようになりました。私は英語と子どもが好きでしたので、英語の先生になって子どもたちと触れ合いながら、少しでも子どもたちが前向きに未来へ歩いていくご縁になりたいと思い、英語力向上のためイギリス留学を決意しました。開祖さまが「行ってきなさい」と、私の背中を押してくださったように感じました。

イギリスでは多くの学びを得ました。一番の宝物は信仰を持つことの素晴らしさを知ったことです。イギリスには英語を学ぶために様々な国から多くの人々がやって来ます。多様なバックグラウンドを持つ人々と触れ合うなかで、私が魅力を感じたのは、宗教を持つ人々に共通した温かく、大きな考え方や人柄でした。



台北教会で説法する陳さん

さらに、トルコ出身のイスラム教徒の女性からは、仏教の素晴らしさを教えてもらいました。彼女が感動して語ってくれたのは、後々わかったのですが、八正道の教えでした。

日本に帰った私は、仏教を学びたい、そして立正佼成会の教えを知りたいという気持ちでいっぱいになりました。それまで受け身だった私の信仰が、自ら知りたいという主体的な信仰に変化したのです。それからは青年部の活動に積極的に参加するようになり、仏教を学び、青年部の仲間とご法活動をさせていただけることが、楽しくて仕方ありませんでした。

そんな積極性が認められ、一年半の短い期間でしたが、青年総務のお役も拝命しました。教会の行事や活動にどうすればたくさんの方に参加していただけるだろうかと思案し、毎日のように教会に足を運びました。一生懸命お役をさせていただくことを通して、自分の力以上の何かが働いていることを実感しました。当時は、まだ仏教のことを深く知らず、立正佼成会の教えもしっかり説明できない私でしたが、ただひたすらに立正佼成会の教えに沿った生活を送り、行事や活動への参加を通して「仏」「法」「僧」の三宝に密接した生活が続けられたことで、この世の中には「真理」が存在することや、私たちは仏さまに護られていることに気づけたのです。

それは、幸せな人生への鍵を手に入れた瞬間でした。この気づきのおかげさまで、どんなに辛いことも自分が向上するために必要な「仏さまからのメッセージ」だと思えるようになりました。どこにいても、誰といっても、どんなご縁に触れても、揺らぐことなく、力強く前向きに生きていきます。

その後、私は留学中に会った台湾人の現在の主人との結婚のお手配をいただき、台湾での生活を始めました。台湾にも立正佼成会の教会があり、私の両親はとても安心してくれました。それまでの青年部活動を通して、教会道場のためにわが身を使わせていただくと自然に自分の生活が整い、功德をいただけることを実感していた私は、台湾でもできる限り教会道場へ足を運ぶようにしました。台湾に住み始めてからは、言葉の壁に直面しながら、出産や子育てなど多くの経験をしましたが、近くに教会があるおかげさまで、教会参拝、当番修行、お布施など自己を戒める行を続けることができ、サンガの温かさに包まれながら、不安を感じることなく生活を送ることができました。また、台湾に来てからは主人の両親と同居していますが、立正佼成会の教えを通して、幼い頃から「親孝行」「先祖供養」「菩薩行」の大切さを聞いて育ったため、一緒に住むことで親孝行のチャンスをたくさんいただけると思うことができ、おおらかな義父母と楽しく過ごさせていただくことができました。

また、この頃、台北教会にも変化が訪れました。日本語が堪能な簡汝廉前理事長さんからその娘さんである現在の簡妙芳教会長さんへバトンが渡されました。日本語を解する世代から解さない世代へのバトンタッチは大きな変化です。日本語で書かれたご法話などの内容を、すぐに翻訳して信者さんにお伝えすることができない簡教会長さんのご苦勞が、ひしひしと伝わってきました。少しでも言葉の壁が埋められないかと、文書部長のお役を拝命し、できる限りのことをさせていただきました。しかし、その後主人

の仕事の関係で、三人の子どもたちを連れてベトナムに引っ越すことが決まり、後ろ髪を引かれる思いで台湾を後にしました。

教会道場もサンガの仲間もないベトナムでの唯一の支えは朝夕のご供養でした。ご供養を通して、仏さま中心の生活を続けることで、心に栄養をいただき、毎日を前向きに過ごすことができました。また、台北教会のためにできることがあれば、ベトナムにいてもさせていただこうと考えていました。すると、ベトナムに来てから6年目の2019年、簡教会長さんから念願の本部御本尊勧請のお話をいただいたのです。とてもうれしい反面、どうしてこの時期にと、ためらいも感じました。というのも、この年の6月、主人の会社では勤続17年の社員が退職し、中国語もまだ私のその社員の代わりを務め始めたばかりだったからです。その3年ほど前から主人の仕事を手伝っていたとはいえ、毎日頭から煙を出しながら悪戦苦闘している最中でした。

教会長さんからは「本部御本尊をいただきたいと心から思うなら道は開けますよ」とご指導をいただき、私は御本尊を拝受したい一心でしたが、主人のことも心配でした。仕事が忙しいのは主人も同様で、三人の子どもたちを任せることで、主人にさらに負担をかけてしまうのではと迷いました。しかし、主人はただ一言「いいよ」と言うだけであとは何も言わず、主人の両親も私の願いをそのまま受け入れてくれました。

勧請の日の当日は、簡教会長さんのお慈悲で、20名の台北教会のサンガがはるばるベトナムまで駆けつけてくださり、無事にご本尊のお祀り込みをさせていただくことができました。まさしく私の人生の一大事でした。

御本尊勧請にあたり、たくさんの方々から温かい

お祝いの言葉をいただき胸がいっぱいです。「ただひたすらに」——それは開祖さまの傘寿記念に出版された写真集のタイトルにもなった言葉ですが、私はこの言葉を胸にこれまで歩んできました。勧請への祝福の言葉をいただきながら、身の引き締まる思いがしました。仕事も、子育ても、布教も、私にとってはこれからが本番だと感じるからです。さらに信を深めるための第一歩として、今回、本部御本尊勧請のお手配をいただいたように思います。

私の現在の願いは、「台湾の主人の家族にもっと立正佼成会のことを知っていただきたい」というものです。まずは、今年予定されている台北教会の本部団参に、主人の両親と一緒に参加させていただきたいと思います。そして、私の大きな願いは、開祖さまのように皆さまの幸せを念じ、「ただひたすらに」これからの人生を、仏さまと、そして皆さまと共に力強く歩んでゆくことです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



御本尊御安置式にて
(最前列右から2番目)

法華三部經

各品のあらましと要点

妙法蓮華經

如来寿量品第十六（前半）

迹門の柱である《方便品第二》においては、〈諸法実相〉ということが説かれました。その結論は〈本末究竟等〉すなわち〈目に見える現象は、一定の法則によってさまざまな変化を見せるけれども、初め（本）から終わり（末）まですべて等しいのである〉ということでした。これはあくまでも哲学的な真理であり、きわめて冷厳なものです。それだけに、単にその真理を悟っただけでは、すぐさまそれが人間の救われや生きがいには結びつかないのです。

それゆえ、お釈迦さまは、その真理を人間に即して〈人間の本質は仏性である〉という方向へ、次第次第に説き進められました。初めから明らかにそれをお説きになっても、一般の人びとにはすぐのみこめるはずがないので、譬え話をなさったり、過去世の物語にことよせたりしながら、暗示的にだんだんと人びとの心をその方向へ引き寄せてこられたのです。

久遠実成の宣言

そして、ついにこの《如来寿量品第十六》の説法で、その真実をはっきりと打ち明けられるのです。すなわち、仏の寿命は不生不滅であり、その仏を久遠実成の本仏といい、釈尊こそその久遠実成の本仏であると説きになりました。そして、人間は（人間以外の万物も）その久遠本仏に生かされている仏の実の子であることを明らかにされるのです。そこ

で、冷厳で哲学的な諸法実相の悟りに、人間的な温かい血が通いはじめ、人びとは「自分は久遠の本仏の慈悲にいだかれているのだ、生かされているのだ」という、しみじみとしたありがたい思いにつつまれるようになるのです。そうやってこそ、ほんとうのしあわせが生まれ、ほんとうの生きがいを感じられてくるわけです。

いうならば、迹門は哲学的な悟りの教えであり、本門はそれに精神鼓舞のエネルギーを与えた、宗教的な教えの極致なのであります。それゆえ、この品こそは法華經のみならず、一切經の魂魄であるといわれているわけであります。



この品には、そういう真実が理論的にも説かれています。が、なんといっても、すべての人に分かりやすいようにというお心遣いから説かれた〈良医治子の譬え〉が、この品の中心であるといっていると思いますから、その譬え話に基づいて、この品の教えの要点を考えていくことにしましょう。

良医治子の譬え

ある所に一人の医師がいました。すぐれた智慧をもち、薬の処方にも熟達していて、どんな病気にも対処できる名医でした。

その人にはたくさんの子どもがいましたが、父の医師が所用で他国へ出かけた留守に、誤って毒になる薬を飲んでしまいました。父が家におればそんなことは起こらないのですが、留守のあいだはしたい放題の生活をしているので、ついそんなことになってしまったのです。

だんだん毒がまわってくると、子どもたちは地べたを転げまわって苦しみました。そこへ、幸い父が帰ってきました。子どもたちは、ある者はあまり毒がまわっておらず、ある者は毒のために本心を失っていましたが、帰宅した父の姿を見ると、一様にたいへん喜びました。

みんな父の前にひざまずいて、「おとうさん、よく帰ってくださいました。わたくしどもはばかなことをしてしまったのです。まちがって、毒になる薬を飲んでしまいました。どうか治療してください。命を助けてください」と頼みました。

父は子どもたちが苦しんでいるのを見て、よく効く薬草の、しかも色・味・香りのいいものを選んで、飲みやすく調合して、子どもたちに与えました。「これはすばらしくよく効く薬だ。さあ、すぐお飲み。いまの苦しみが治るばかりか、これから先も病気一つしなくなるよ」。

子どもたちの中で本心を失っていない者は、すぐそれを飲んだので、毒による病はすっかり治ってしまいましたが、毒が深くまわっている子どもたちは、先ほどは「病気を治してください」と頼んでおきながら、せっかくの薬を飲もうともしないのです。なぜかといえば、毒のために本心を失っているので、その薬が色もわるく、変な臭いがするよう

に感じられて、飲む気になれなかったのです。それを見て、父の医師は考えました。「ああ、かわいそうに、毒のために心がすっかり顛倒しているのだ。仕方がない。こうなったからには非常手段をとって、この子たちが必ず薬を飲むように仕向けよう」。

そこで、父は「みんなよく聞きなさい。わたしはもう歳をとって、死期が近づいている。それなのに、また用があつて他国へ出かけなければならないのだ。それで、この良薬をここに置いておくから、必ず飲むのだよ」と言い残し、旅に出てゆきました。そして、旅先から使いを出して、「お父上はおなくなりになりました」と告げさせました。

それを聞いた子どもたちは、たいへん驚き、悲しみました。「ああ、おとうさんがおられたらなあ……」という心細さが、痛切に感じられてきました。

すると、そのショックで、ハッと本心に立ち返ることができました。

そこで初めて、父の残していった薬が色も香りもいいのに気がつき、さっそくそれを飲むと、たちまち毒による病はすっかり治ってしまいました。

ところがどうでしょう。子どもたちが治ってしまうと、死んだとばかり思っていた父が他国から帰ってきて、みんなの前に元気な姿をあらわしたのであります。

た因と縁とが和合すれば、必ずそれにふさわしい現象があらわれるのだ」という真理（縁起観）を教えられました。その真理に基づいて〈十二因縁〉・〈四諦〉・〈八正道〉・〈六波羅蜜〉など、いろいろな教えを説かれました。そして、それらの教えによって、多くの人びとが迷いを除き、安らかな心境に達することができました。

（庭野日敬著『法華三部經 各品のあらましと要点』
佼成出版社、2016年〔初版 1991年〕, p. 156－163）

すべての煩惱の根本は

名医の父は仏さまであり、子どもたちはわれわれ凡夫です。毒になる薬というのは五欲の煩惱であり、良薬というのは仏さまの教えです。

凡夫はさまざまな煩惱をもっていますが、煩惱の起こるいちばんの根本原因を探てみると、〈目に見えるもののみを実在と思い、それにとらわれ、むさぼりの心を起こす〉ところにあるのです。自分の身体をはじめとして、目の前にあるさまざまな物質や、金銭や、まわりに起こる物事を、確固として実在するものと見るために、それにとらわれ、心を振り回されて苦しむのです。

縁起観

そこでお釈迦さまは、「この世のすべての現象は、因と縁によって生じた仮のあらわれにすぎない。その因と縁がなくなれば現象もなくなり、違っ



怠け心に負けない

皆さま、お元気ですか？新型コロナウイルスの感染がこんなにも世界的な規模で蔓延するとは思っていませんでしたね…？

絶対の信があれば、心安らかに過ごせると教えていただいていたとしても、長期戦になるとついつい怠け心が出てきて、みんなで守ろうと決めたことでも、少しくらいいいかなと思ってしまいます。

今月の会長先生のご法話では、「怠け心に負けない」ために、目標を持つことと、誰かを思う気持ちを持ち続けることの大切さをお示しいただきました。

開祖さまの教団創立のお心である「すべての人が救われ、世界が平和になるように」との大いなる願いを我が目標と自覚し、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

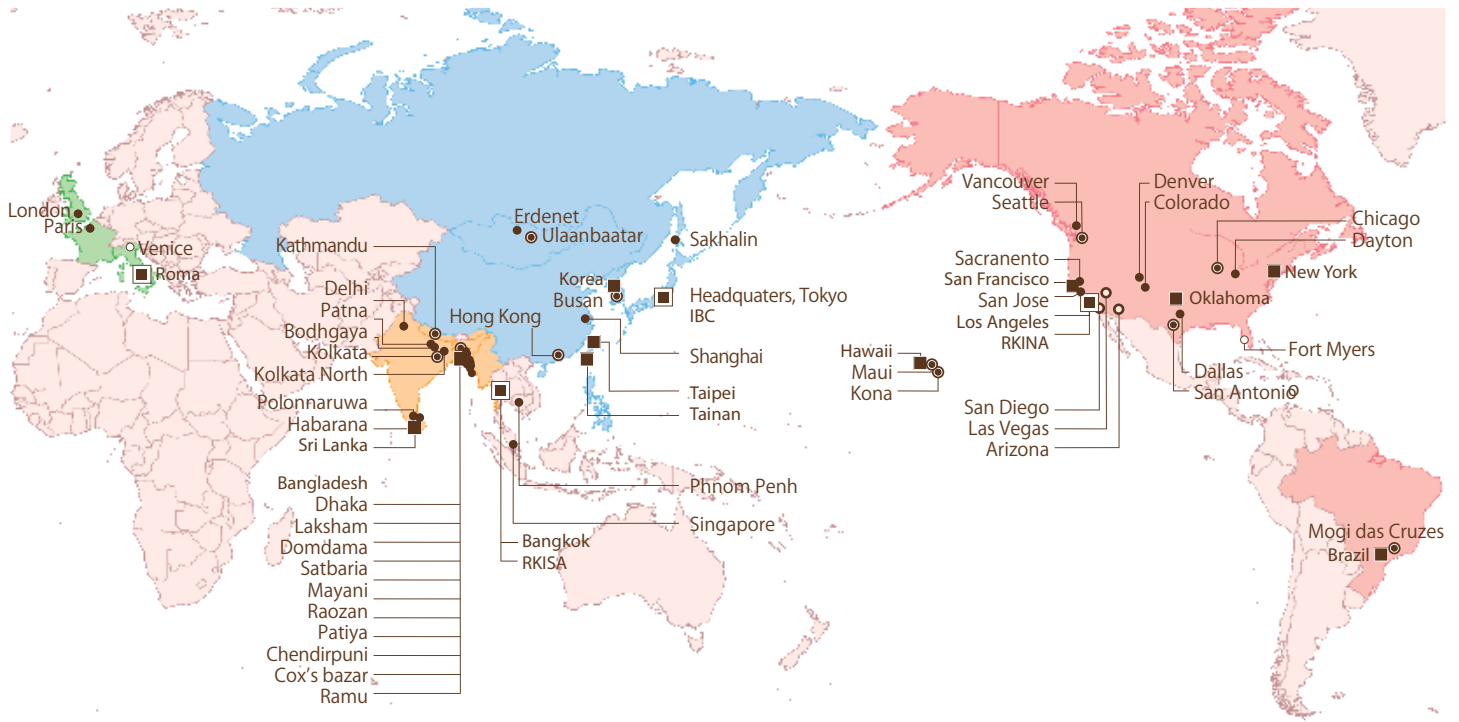
国際伝道部長
齋藤 高市



✉ Living the Lotus では、皆様のご意見・ご感想を募集しています。
お問い合わせは、以下の E メールアドレスにお願い致します。
E メール : living.the.lotus.rk-international@kosei-kai.or.jp



Rissho Kosei-kai: A Global Buddhist Movement



Rissho Kosei-kai Buddhist Church of Hawaii

2280 Auhuhu Street, Pearl City, HI 96782, USA
TEL: 1-808-455-3212 FAX: 1-808-455-4633
Email: sangha@rkhawaii.org URL: <http://www.rkhawaii.org>

Rissho Kosei-kai Maui Dharma Center

1817 Nani Street, Wailuku, HI 96793, USA
TEL: 1-808-242-6175 FAX: 1-808-244-4625

Rissho Kosei-kai Kona Dharma Center

73-4592 Mamalahoa Highway, Kailua-Kona, HI 96740, USA
TEL: 1-808-325-0015 FAX: 1-808-333-5537

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

2707 East First Street, Los Angeles, CA 90033, USA
POBox 33636, CA 90033, USA
TEL: 1-323-269-4741 FAX: 1-323-269-4567
Email: rk-la@sbcglobal.net URL: <http://www.rkina.org/losangeles.html>

Please contact Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Los Angeles

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Arizona
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Colorado
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Diego
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Las Vegas
Rissho Kosei-kai Buddhist Center of Dallas

Rissho Kosei-kai of San Francisco

1031 Valencia Way, Pacifica, CA 94044, USA
POBox 778, Pacifica, CA 94044, USA
TEL: 1-650-359-6951 Email: info@rksf.org
URL: <http://www.rksf.org>

Please contact Rissho Kosei-kai of San Francisco

Rissho Kosei-kai of Sacramento
Rissho Kosei-kai of San Jose

Rissho Kosei-kai of New York

320 East 39th Street, New York, NY 10016, USA
TEL: 1-212-867-5677 Email: rkny39@gmail.com URL: <http://rk-ny.org>

Rissho Kosei-kai of Chicago

1 West Euclid Ave., Mt. Prospect, IL 60056, USA
TEL: 1-773-842-5654
Email: murakami4838@aol.com URL: <http://rkchi.org>

Rissho Kosei-kai of Fort Myers

URL: <http://www.rkftmyersbuddhism.org>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Oklahoma

2745 N.W. 40th St., Oklahoma City, OK 73112, USA
POBox 57138, Oklahoma City, OK 73157, USA
TEL: 1-405-943-5030 FAX: 1-405-943-5303
Email: rkokdc@gmail.com URL: <http://www.rkok-dharmacenter.org>

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Denver

1255 Galapago St. #809 Denver, CO 80204, USA
TEL: 1-303-446-0792

Rissho Kosei-kai Dharma Center of Dayton

617 Kling Drive, Dayton, OH 45419, USA
URL: <http://www.rkina-dayton.com>

The Buddhist Center Rissho Kosei-kai International of North America (RKINA)

2707 East First St., Suite #1, Los Angeles, CA 90033, USA
TEL: 1-323-262-4430 FAX: 1-323-262-4437
Email: info@rkina.org URL: <http://www.rkina.org>

Rissho Kosei-kai Buddhist Center of San Antonio

(Address) 6083 Babcock Road, San Antonio, TX 78240, USA
(Mail) POBox 692042, San Antonio, TX 78269, USA
TEL: 1-210-561-7991 FAX: 1-210-696-7745
Email: dharmasanantonio@gmail.com
URL: <http://www.rkina.org/sanantonio.html>

Rissho Kosei-kai of Seattle's Buddhist Learning Center

28621 Pacific Highway South, Federal Way, WA 98003, USA
TEL: 1-253-945-0024 FAX: 1-253-945-0261
Email: rkseattlewashington@gmail.com
URL: <http://buddhistlearningcenter.org>

Rissho Kosei-kai of Vancouver

Please contact RKINA

Rissho Kosei-kai do Brasil

Rua Dr. José Estefno 40, Vila Mariana, São Paulo-SP, CEP 04116-060, Brasil
TEL: 55-11-5549-4446, 55-11-5573-8377
Email: risho@rkk.org.br URL: <http://www.rkk.org.br>

Facebook: <https://www.facebook.com/rishokosseikaidobrasil>
Instagram: <https://www.instagram.com/rkkbrasil>

Risho Kosei-kai de Mogi das Cruzes

Av. Ipiranga 1575-Ap 1, Mogi das Cruzes-SP, CEP 08730-000, Brasil

在家佛教韓國立正佼成會

〒 04420 大韓民國 SEOUL 特別市龍山區漢南大路 8 路 6-3
6-3, 8 gil Hannamdaero Yongsan gu, Seoul, 04420, Republic of Korea
TEL: 82-2-796-5571 FAX: 82-2-796-1696

在家佛教韓國立正佼成會釜山支部

〒 48460 大韓民國釜山廣域市南區水營路 174, 3F
3F, 174 Suyoung ro, Nam gu, Busan, 48460, Republic of Korea
TEL: 82-51-643-5571 FAX: 82-51-643-5572

社團法人在家佛教立正佼成會

台灣台北市中正區衡陽路 10 號富群資訊大廈 4 樓
4F, No. 10, Hengyang Road, Jhongheng District, Taipei City 100, Taiwan
TEL: 886-2-2381-1632, 886-2-2381-1633 FAX: 886-2-2331-3433

台南市在家佛教立正佼成會

台灣台南市崇明 23 街 45 號
No. 45, Chongming 23rd Street, East District, Tainan City 701, Taiwan
TEL: 886-6-289-1478 FAX: 886-6-289-1488
Email: koseikaitainan@gmail.com

Rissho Kosei-kai South Asia Division

Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Kathmandu

Ward No. 3, Jhamsikhel, Sanepa-1, Lalitpur, Kathmandu, Nepal

Rissho Kosei-kai of Kolkata

E-243 B. P. Township, P. O. Panchasayar, Kolkata 700094, India

Rissho Kosei-kai of Kolkata North

AE/D/12 Arjunpur East, Teghoria, Kolkata 700059, West Bengal, India

Rissho Kosei-kai of Bodhgaya Dharma Center

Ambedkar Nagar, West Police Line Road, Rumpur, Gaya-823001,
Bihar, India

Rissho Kosei-kai of Patna Dharma Center

Rissho Kosei-kai of Central Delhi

77 Basement D.D.A. Site No. 1, New Rajinder Nagar,
New Delhi 110060, India

Rissho Kosei-kai of Singapore

Rissho Kosei-kai of Phnom Penh

W.C. 73, Toul Sampaov Village, Sangkat Toul Sangke, Khan Reouseykeo,
Phnom Penh, Cambodia

RKISA Rissho Kosei-kai International of South Asia

Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8141 FAX: 66-2-716-8218

Rissho Kosei-kai of Bangkok

Thai Rissho Friendship Foundation
201 Soi 15/1, Praram 9 Road, Bangkapi, Huaykhwang, Bangkok 10310, Thailand
TEL: 66-2-716-8216 FAX: 66-2-716-8218 Email: info.thairissho@gmail.com

Rissho Kosei Dhamma Foundation

No. 628-A, Station Road, Hunupitiya, Wattala, Sri Lanka
TEL: 94-11-2982406 FAX: 94-11-2982405

Rissho Kosei-kai of Polonnaruwa

Rissho Kosei-kai Bangladesh

85/A Chanmari Road, Lalkhan Bazar, Chittagong, Bangladesh
TEL/FAX: 880-31-626575

Rissho Kosei-kai Mayani

Mayani Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Damdama

Damdama Barua Para, Mirsarai, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Patiya

China Clinic, Patiya Sadar, Patiya, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Satbaria

Village: Satbaria Bepari Para, Chandanaih, Chittagong, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Chendhirpuni,

Village: Chendhirpuni, P.O.: Adhunogar, P.S.: Lohagara, Chittagong,
Bangladesh

Rissho Kosei-kai Dhaka

408/8 DOSH, Road No 7 (West), Baridhara, Dhaka, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Laksham

Village: Dhupchor, Laksham, Comilla, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Cox's Bazar

Ume Burmize Market, Tekpara, Sadar, Cox's Bazar, Bangladesh

Rissho Kosei-kai Cox's Bazar, Ramu Shibu

Rissho Kosei-kai Raozan

Dakkhin Para, Ramzan Ali Hat, Raozan, Chittagong, Bangladesh

Buddiyskiy khram "Lotos"

4 Gruzinski Alley, Yuzhno-Sakhalinsk 693005, Russia
TEL: 7-4242-77-05-14

Rissho Kosei-kai of Hong Kong

Flat D, 5/F, Kiu Hing Mansion, 14 King's Road, North Point, Hong Kong, China

Rissho Kosei-kai Friends in Shanghai

Rissho Kosei-kai of Ulaanbaatar

(Address) 15F Express Tower, Peace avenue, khoro-1, Chingeltei district,
Ulaanbaatar 15160, Mongolia

(Mail) POBox 1364, Ulaanbaatar-15160, Mongolia
TEL: 976-70006960 Email: rkkmongolia@yahoo.co.jp

Rissho Kosei-kai of Erdenet

Rissho Kosei-kai di Roma

Via Torino, 29, 00184 Roma, Italia
TEL/FAX: 39-06-48913949 Email: roma@rk-euro.org

Rissho Kosei-kai of the UK

Rissho Kosei-kai of Paris

Rissho Kosei-kai of Venezia

Rissho Kosei-kai International Buddhist Congregation (IBC)

166-8537 東京都杉並区和田 2-7-1 普門メディアセンター 3F
Fumon Media Center 3F, 2-7-1 Wada, Suginami-ku, Tokyo 166-8537, Japan
TEL: 03-5341-1230 FAX: 03-5341-1224 URL: <http://www.ibt-rk.org>